

医療薬学実習(薬剤、大河原賢一), Clinical Pharmacy (Pharmaceutics-2)

| | 項目 | A | B | C | D | E |
|--------------|---|--------------|------------------------|------------------------|------------------------|---------------------------|
| 基本的事項 | <ul style="list-style-type: none"> ① 真面目に取り組むことができる。 ② 班の一員として、周りとの協調性を持って実習に取り組むことができる。 ③ 実習の各プロセスをノートなどに記述出来る。 ④ 実習内容を理解し、自主的に取り組むことができる。 | 左の4項目全てを満たす。 | 左の4項目のうち、3項目については該当する。 | 左の4項目のうち、2項目については該当する。 | 左の4項目のうち、1項目については該当する。 | 左の4項目のうち、該当するものがひとつもない。 |
| 態度・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ① 実験に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱うことができる。 ② 実習中に生じたトラブル・不明な点を放置することなく、速やかに教員あるいはTAに報告・相談できる。 ③ 関数電卓を利用して得られた生データを必要な情報に変換することができる。 ④ 得られた結果をもとに適切なグラフを作成することができる。 ⑤ 適切な解析方法により、作成したグラフから欲しい情報を得ることができる。 ⑥ 得られた実験結果が理論に合致しているか客観的に判断できる。 | 左の6項目を全て満たす。 | 左の6項目のうち5項目については該当する。 | 左の6項目のうち4項目については該当する。 | 左の6項目のうち3項目については該当する。 | 左の6項目のうち、該当するものが2項目以下である。 |
| レポート | <ul style="list-style-type: none"> ① 実習項目の背景について自分で調べ、実習書に記載された情報+αを書くことができる。 ② 実習で得られた結果を適切に整理できる。 ③ 他人にも分かりやすく結果を記述することができる。 ④ 得られた結果が示唆する事柄について、関連講義で習った内容と結び付け、論理的に考察できる。 ⑤ 理論通りの結果が得られなかった場合、考えられる可能性を様々な角度から挙げる事が出来る。 | 左の5項目を全て満たす。 | 左の5項目のうち、4項目については該当する。 | 左の5項目のうち、3項目については該当する。 | 左の5項目のうち、2項目については該当する。 | 左の5項目のうち、該当するものが1項目以下である。 |

医療薬学実習(製剤) Clinical Pharmacy (Pharmaceutics-1) (黒崎勇二)

| 項目 | | A | B | C | D | E |
|-------|---|------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---|
| 基本的事項 | <ul style="list-style-type: none"> ① 実習書の一般的注意事項に沿って実習に取り組んでいる。 ② 実習グループの一員として、協調性を持って実習に取り組むことができる。 ③ 実習内容を理解し、実習に積極的に取り組むことができる。 ④ 実習の各プロセスをノートなどに記述できる。 | これら4項目すべてに該当する。 | 4項目のうち3項目については該当する。 | 4項目のうち2項目については該当する。 | 4項目のうち1項目については該当する。 | 4項目のうち、該当するものがひとつもない。 |
| 技能・実施 | <ul style="list-style-type: none"> ① 実習書に沿った正しい方法・手技で実習ができる。 ② 実習に用いる薬品や器具・機器を正しく取扱うことができる。 ③ 情報を得るための適切な図表として、実験結果を整理できる。。 ④ 得られた実験結果が合目的であるか客観的に判断できる。 | これら4項目すべて達成している。 | 4項目のうち3項目について達成している。 | 4項目のうち2項目について達成している。 | 4項目のうち1項目について達成している。 | 4項目のうち、達成しているものがひとつもない。 |
| レポート | <ul style="list-style-type: none"> ① 実習手順とともに実習結果を適切に整理できる。 ② 実習目的に沿って、得られた結果を論理的に考察できる。 ③ 調査事項について、実習項目との関連を整理できる。。 ④ 確認事項について、教科書等で確認し、実習項目の理解を深めることができる。 ⑤ 理解しやすい図表・文章表現(文字の読みやすさも含む)でレポートが書ける。 | これら5項目すべて達成している。 | 5項目のうち4項目について達成している。 | 5項目のうち3項目について達成している。 | 5項目のうち2項目について達成している。 | 5項目のうち1項目について達成している。あるいは、達成しているものがひとつもない。 |

医療薬学実習(病理標本観察/高山)

| 項目 | | A | B | C | D | E |
|---------|--|-------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 実習態度 | ①安全に注意している。 ②顕微鏡の構造を理解し操作、観察できる。 ③薄切標本による組織・細胞の形態の観察ができる。 ④遅刻しない。 | 4項目全てに該当する。 | 4項目中3項目に該当する。 | 4項目中2項目に該当する。 | 4項目中1項目に該当する。 | 4項目すべてに該当しない |
| レポート:目的 | ①誤字脱字がない。 ②通読により、記述内容が理解できる。 ③論理的整合性が取れている。 ④目的が明示されている。 | 4項目全てに該当する。 | 4項目中3項目に該当する。 | 4項目中2項目に該当する。 | 4項目中1項目に該当する。 | 4項目すべてに該当しない |
| レポート:方法 | ①誤字脱字がない。 ②薄切標本構成についての記述ができる。 ③組織・細胞および病態に対して適切な染色法が選択できる。 ④通読により、記述内容が理解できる。 | 4項目全てに該当する。 | 4項目中3項目に該当する。 | 4項目中2項目に該当する。 | 4項目中1項目に該当する。 | 4項目すべてに該当しない |
| レポート:結果 | ①誤字脱字がない。 ②通読により、記述内容が理解できる。 ③病態の形態学および病理学的特徴を観察像のスケッチとして表せる。 ④正常と病態の形態学的変化をについて、病理組織学的に説明している。 | 4項目全てに該当する。 | 4項目中3項目に該当する。 | 4項目中2項目に該当する。 | 4項目中1項目に該当する。 | 4項目すべてに該当しない |
| レポート:考察 | ①誤字脱字なく、記述内容が通読により理解できる。 ②形態学的変化による臓器機能変化を考察できている。 ③論理的整合性が取れている。 ④参考文献が適切に引用されている。 | 4項目全てに該当する。 | 4項目中3項目に該当する。 | 4項目中2項目に該当する。 | 4項目中1項目に該当する。 | 4項目すべてに該当しない |

医療薬学実習(杉本)

| 項目 | | A | B | C | D | E |
|-------|--|---------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 基本的事項 | <ul style="list-style-type: none"> ① 真剣に取り組んでいる。 ② 自主的に取り組んでいる。 ③ 周りとは協調的に取り組んでいる。 ④ 指示された通りの手順で実施している。 ⑤ 実験結果を正確にノートに記述している。 | 5項目を全て達成している。 | 5項目のうち、4項目については達成している。 | 5項目のうち、3項目については達成している。 | 5項目のうち、2項目については達成している。 | 5項目のうち、1項目以下しか達成していない。 |
| 技能 | <ul style="list-style-type: none"> ① 実験に用いる薬品、器具、機器を正しく取り扱うことができる。 ② 実験動物を正しく取り扱うことができる。 ③ 実験から得られた現象を適切に評価することができる。 ④ 実験結果を正確に記録することができる。 ⑤ 得られた実験結果が予想に合致しているか客観的に比較できている。 | 5項目を全て達成している。 | 5項目のうち、4項目については達成している。 | 5項目のうち、3項目については達成している。 | 5項目のうち、2項目については達成している。 | 5項目のうち、1項目以下しか達成していない。 |
| レポート | <ul style="list-style-type: none"> ① 実験方法を適切に記載している。 ② 実験で得られた結果を適切に記載している。 ③ 実験方法および実験結果を分かりやすく記載するために図示などの工夫がされている。 ④ 実験で得られた結果と講義で学習した内容を関連づけた考察ができている。 ⑤ 得られた結果と予想された結果の相違点について適切な考察ができている。 | 5項目を全て達成している。 | 5項目のうち、4項目については達成している。 | 5項目のうち、3項目については達成している。 | 5項目のうち、2項目については達成している。 | 5項目のうち、1項目以下しか達成していない。 |

Practice in Clinical and Biopharmaceutical Sciences II(医療薬学系実習II・担当高杉)

| 項目 | | A | B | C | D | E |
|-------|--|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------|
| 基本的事項 | ①白衣・手袋を着用するなど、実習にふさわしい服装をしている ②動物実験の3Rについて理解している ③実習目的・内容を理解し、事前に準備をするなど手際よく実習を遂行できる ④個人の实習担当分を理解し自主的に遂行できる ⑤グループ内で提案し、議論に参加するなど協調的に実習に参加できる | これらすべてに該当する | 5項目のうち、4項目について該当する。 | 5項目のうち、3項目について該当する。 | 5項目のうち、2項目について該当する。 | 5項目のうち、1項目該当する |
| 技能 | ①動物実験について基本的な操作ができる ②薬剤・試薬・器具について適切な扱いができる ③実習結果を記録し、グラフを作製することができる ④教員・TAに実習の経過を報告できる ⑤実験後の片付け・整頓が適切にできる | これらすべてに該当する | 5項目のうち、4項目について該当する。 | 5項目のうち、3項目について該当する。 | 5項目のうち、2項目について該当する。 | 5項目のうち、1項目該当する |
| レポート | ①論理的な文章によりレポートを作成できる ②実習の手順・実際の経過を整理して説明できる ③実習により得られた結果を、客観的にわかりやすくまとめることができる ④薬理学の知識を考察に応用できる ⑤実習結果をより発展させる研究を提案できる | これらすべてに該当する | 5項目のうち、4項目について該当する。 | 5項目のうち、3項目について該当する。 | 5項目のうち、2項目について該当する。 | 5項目のうち、1項目該当する |